

けんこう  
いつまでも健口でいられるために  
～ QOL向上を目指して ～

特別養護老人ホーム 羽衣の園  
介護スタッフ 船崎 晴美  
龍戸 幸々美

### いままでの口腔ケアの状況

- 勤務体制変更により、口腔ケアにかかる時間が十分に確保できず、丁寧なケアが出来なくなってしまっていた。
- 口腔ケアの方法が統一されておらず、個々にあったケアが出来ていなかった。

### いままでの嚥下機能訓練の状況

- 食事前の嚥下体操しか行なっておらず、嚥下機能が低下しつつある利用者への対応が遅かった。

いつまでも健口でいられるために

### 取り組んだ課題

- 口腔ケアの徹底。
- 嚥下機能訓練。


施設内研修を行い、食事・口腔ケアに関する意義、知識の向上を計る。



いつまでも健口でいられるために

### 口腔ケアに関する具体的な取り組み


- 各利用者の担当者に口腔、嚥下状態の把握をしてもらい、個々に合ったケア方法、ケアグッズの見直しをした。
- 食事、口腔ケアに関するルールを作成し、ケア方法を統一させた。
- 業務時間の見直しをし、口腔ケアの時間を十分に確保した。
- 口腔ケアを確実に出来るように、チェック表を作成した。



いつまでも健口でいられるために

### 嚥下機能訓練に関する具体的な取り組み

- 研修を行い、嚥下機能訓練方法の学習をし、ケアの統一を計った。
- 各利用者様の嚥下状態の把握につとめた。
- CM、NSと連携し、嚥下状態が低下しつつある利用者様へ集中ケアを行い、嚥下機能回復につとめた。その際、ケアを確実に出来るように当番制にした。



いつまでも健口でいられるために

## 活動の成果と評価

### メリット

- 口腔ケアの徹底的な見直しをした事により、各利用者様の口腔内、嚥下状態が把握できるようになり、その結果、嚥下機能が低下しつつある方への対応が早く出来るようになった。
- 嚥下機能が低下した方を集中的にケアすることにより、本人の「普通のご飯が食べたい」という意識が強くなり、積極的に訓練を行ってくれるようになった。
- 居室内の臭いや、ベッド上の食べカスがなくなった。
- 利用者様が積極的に口腔ケアを行なってくれるようになった。
- 口腔ケア以外の生活においても、積極性が生まれた。
- スタッフの口腔ケアに対する意識を以前より向上することが出来た。

### デメリット

- 口腔ケアの時間を以前より十分に確保したため、他の業務時間に影響が出るようになった。
- 口腔ケアへの意識が向上したとはいえ、まだまだ意識を高めていく必要があり、スタッフ会議で何度も話し合い、時々スタッフ間で意見の衝突があった。

### 今後の課題

- これからも継続して行なっていき、利用者の方々が美味しく食事を食べられるように支援していきたい。
- 口腔ケアの重要性を意識し続けるためにも、施設内研修を何度も行い、スタッフの意識向上にも努めたい。
- 口腔ケア以外でも、利用者の方々の生活の質を高めていける様に、スタッフが全員で協力して支援していきたい。